

## はじめに

地域活性化と一言で言っても、様々な活性化の方法があるだろう。街の特産物を売り出したり、商業施設を建てて観光の目玉にしたり、はたまた流行りのゆるキャラを作り出し世に名を馳せたりと、その方法は地域毎に様々である。

その中でも私たちが着目したのは教育。何も教育は座学だけではない。地域に残る歴史や伝統を通じてこそ、その土地に縁のある人たちだからこそ作り上げることが出来て、他の地域には真似することが出来ない活性化の方法がある。

第1節と第2節では、回覧板と新撰組に焦点を当てて、地域と人とのつながりを述べる。第3節と第4節では、筆者の出身地域における老人ホームと長崎の原爆を通して、次世代の教育と人材育成について論じる。第5節と第6節では、地方自治体の補助的役割が学生の活動とボランティアの活動を拡大させる過程を述べる。上記の節ではそれぞれの地域特有の活性化の方法を、教育を通じて、少子高齢化が進む日本の地域の活性化に向けた展望を考える。